

## 2024 年度(令和 6 年度)温室効果ガス排出状況

### (1) 温室効果ガス排出量(基準年度比)

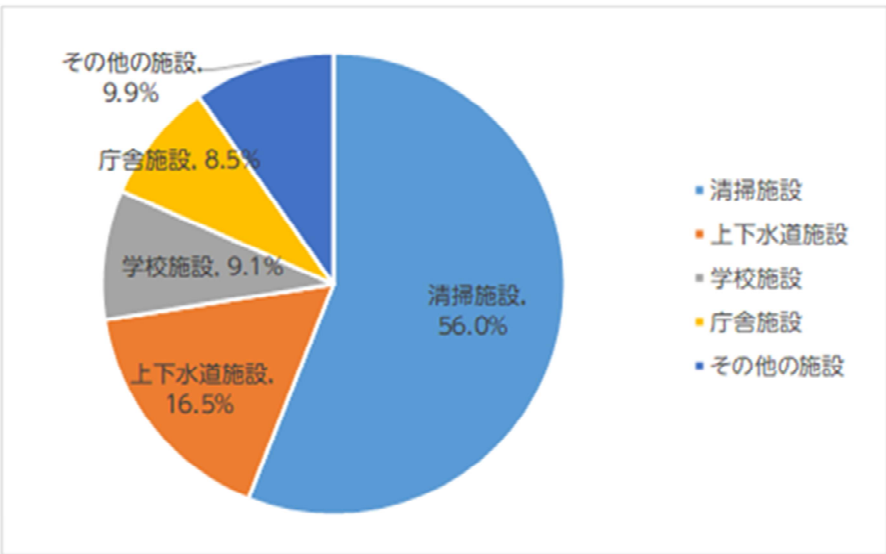
2024 年度の温室効果ガス排出量は、基準年度である2013年度の 16,189t-CO<sub>2</sub>から、13,367 t-CO<sub>2</sub>となり 2,822 t-CO<sub>2</sub>減少しました。

また、エネルギー起源二酸化炭素は 18%の減少、非エネルギー起源二酸化炭素は 17%減少しました。

エネルギー種別	2013 年度 (基準年度) 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	2024 年度 (令和 6 年度) 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	基準年度比
エネルギー起源二酸化炭素	8,336	6,851	－18%
電気	6,663	5,467	－18%
灯油	695	427	－39%
軽油	304	195	－36%
ガソリン	278	280	1%
ガス(LPG)	266	220	－17%
重油	130	87	－33%
都市ガス	—	175	—
非エネルギー起源二酸化炭素	7,853	6,516	－17%
廃プラスチック類の焼却	7,853	6,516	－17%
計	16,189	13,367	－17%

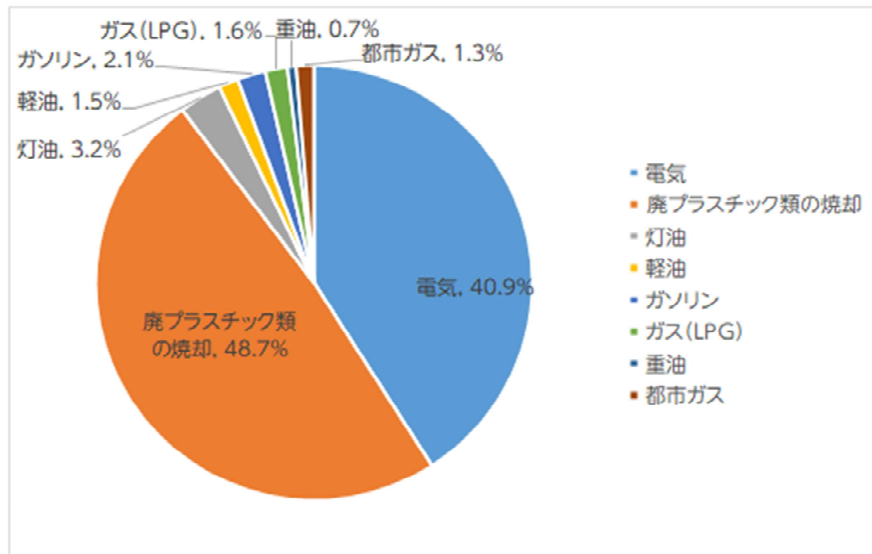
### (2) 施設別の温室効果ガス排出量の割合

清掃施設が全体の 56.0%を占め、次いで上下水道施設 16.5%、学校施設 9.1%、庁舎施設 8.5%となっています。



### (3) エネルギー種別の温室効果ガス排出量の割合

エネルギー種別では、廃プラスチック類の焼却(48.7%)と、電気(40.9%)で全体の 89.6%を占めています。



### (4) 温室効果ガス別削減目標

温室効果ガス排出量 13,367 t-CO<sub>2</sub>のうち、エネルギー起源二酸化炭素が 6,851 t-CO<sub>2</sub>、非エネルギー起源二酸化炭素が 6,516 t-CO<sub>2</sub>となっています。

